

## 財政運営方針（素案）に対する市民意見募集の結果について

### 1 募集期間

令和5年12月25日（月）から令和6年1月15日（月）まで

### 2 周知方法

- (1) 本市ホームページへの記事掲載
- (2) 財政課、公文書館、各区役所区政調整課及び各出張所への閲覧用の素案の設置
- (3) 本市広報紙（令和6年1月1日号）への記事掲載
- (4) 市政記者クラブへの情報提供

### 3 募集結果

- (1) 応募者の数 2人
- (2) 意見の数 4件

### 4 意見に対する本市の考え方

意見に対する本市の考え方は、次ページの表に記載しているとおり。

番号	区分	意見要旨	本市の考え方
1	3 基本方針に基づく取組 (2) 歳出面の取組 ① 人件費の適正な管理	<p>広島市においては、他都市と比べ突出した額の特殊勤務手当（例えば、ごみ収集作業に従事する職員には複数の手当が支給され月に5万円以上となっているが、実態として1万円未満の都市がほとんどである。また、広島市では清掃指導員にも手当があり月に3万円以上の支給となっている。）が支給されている。特殊勤務手当は、「著しく危険、不快、不健康又は困難な勤務その他の著しく特殊な勤務」に対するものであるが、「清掃指導」といった対象とならないような業務への支給が行われていたり、地方公務員法に規定されている「情勢適応の原則」や「均衡の原則」に反して高額であったりして、違法性が疑われる状態にあるのではないかと危惧する。特殊勤務手当の再検討を行い、真に「著しく特殊な勤務」にのみ「均衡の原則」に則った妥当な額を支給することとすれば、特定職員への過度な手当が是正され、その結果として歳出が大きく抑えられると考える。</p> <p>また、広島市のボーナス支給は、6月、12月、3月の3回であるが、他の政令市では6月と12月の2回である。その結果、新規採用職員と退職職員に国や他都市以上のボーナス支給が行われる結果となり、「均衡の原則」に反しているようにも思える。</p> <p>これらを改善することで、適正化がなされるとともに、大幅に歳出が抑えられると考えられる。</p> <p>そこで、「特殊勤務手当をはじめ制度の見直しを行い適正な人件費</p>	<p>御指摘の「適切な人件費の支出」については、「①人件費の適正な管理」や「③事務・事業の見直し」に記載のとおり取り組んでいくこととしています。</p> <p>なお、御指摘の特殊勤務手当については、これまで他の指定都市の状況も踏まえつつ、個々の手当のあり方を含めて本市の業務実態に見合ったものになっているか点検してきており、今後とも必要に応じて見直していきたいと考えています。</p> <p>また、本市の期末勤勉手当の支給回数は年3回（6月、12月、3月）としていますが、年間の総支給月数は国や他の指定都市と同様としており、支給回数の違いだけをもって国や他の指定都市との均衡を失するものではないと考えています。</p>

番号	区分	意見要旨	本市の考え方
		支出に努めます。」といった文面を入れてはどうか。	
2	<p>3 基本方針に基づく取組</p> <p>(2) 歳出面の取組</p> <p>① 人件費の適正な管理</p>	<p>適正な管理のためには適正な人員配置も必要であると思う。例えば、正規職員である清掃指導員は、ごみステーションでの取り残しがでないかの確認やパトロール等、日々の外出に2人で公用車勤務としているが、1人で十分こなせる任務であると思われる。人員配置の見直しを行い、他の不足している部門で勤務することで、増員しなくても適正な職員数確保に資することができるのではないかと考えられる。</p> <p>そこで「正規職員と非正規職員との役割分担の整理や民間委託」の部分に「人員配置の適正化」を入れて、「正規職員と非正規職員との役割分担の整理、人員配置の適正化、民間委託」といった文面にしてはどうか。</p>	<p>本市では、最小の経費で最大の効果を挙げることを念頭に置き、職員配置の見直しを毎年度行っているところであり、御意見の趣旨は、本文において「限られた経営資源を最大限活用しながら、効果的・効率的に質の高い行政サービスを提供していくことが重要であることを踏まえ、適正な職員数を確保していきます。」と記載しています。</p>
3	<p>3 基本方針に基づく取組</p> <p>(2) 歳出面の取組</p> <p>② 社会保障費の増加の抑制</p>	<p>少子高齢化のレベルは市街地部と周辺部で大きく異なり、周辺部では、人口減少が続き、限界集落を経て集落崩壊が起ころうとしている。</p> <p>このようなところで、「自助」・「共助」・「公助」を適切に組み合わせるには、十分な地域ケアシステムの構築が不可欠であり、早急に構築しなければならないと思う。社会保障費抑制のためには、広島市全域において必要なことである。「地域共生社会の実現」と言われているが、周辺の田舎ではそもそも高齢者ばかりで厳しいものがある。</p> <p>そこで、「・・・適切に組み合わせることを基本とすべきであると</p>	<p>社会保障費の増加の抑制に向けた取組に当たっては、高齢者だけでなく、障害者や児童・ひとり親家庭、低所得者など、様々な市民の皆さまの実情を踏まえた配慮が必要であることを踏まえ、本文において、「社会保障費については、「自助」・「共助」・「公助」を適切に組み合わせることを基本とすべきであるということ踏まえつつ、市民生活の安定に配慮するとともに、…」と記載しています。</p>

番号	区分	意見要旨	本市の考え方
		<p>いうことを踏まえつつ、市民生活の安定に配慮するとともに」を、「・・・適切に組み合わせることを基本とすべきであるということ踏まえつつ、早急に十分な地域ケアシステムを構築するなど、市民生活の安定に配慮するとともに」といった文面にしてはどうか。</p>	
4	全般	<p>市民の無関心が広島市が全国1位の人口流出になったのだと思い、意見する。</p> <p>中央図書館の移転問題。現在の場所で建替えの方が安かった。後から予算を膨らまし、市民の声を聞かずにエールエール館へ税金を垂れ流す。浅野図書館の事も市長の宿舎の所へ移転し、新しい宿舎を募金でとか。。お金の使い方がおかしい。</p> <p>商工会議所の移転も。サッカー場も。30年40年前の思考が作る市政が流出の原因である。</p> <p>広島市に偏差値の高い大学がない。広大の次にいける大学を育て、大手企業が広島で支店を出せるくらいの魅力のある市にする。</p> <p>明石市のように、おむつ代の補助、若者が帰ってきたくなるように。子育て世代がやってくるような都市に。</p> <p>最初の流出は大学がないから。就職したい会社がないから。</p> <p>防災は？安心できるものを用意してるのか？</p> <p>自助や共助の事言う前に、市民から使った税金を正しく使ってほしい。</p> <p>広島市民が広島を嫌いになっている事を自覚しましょう。</p>	<p>いただいた御意見を参考にさせていただきながら、今後とも適切な財政運営に努めてまいります。</p>

番号	区分	意見要旨	本市の考え方
		公務員の仕事を派遣やパートで補うのもやめましょう。 他の県、市と違う方向で新しい価値観が生まれないとDX化なんてできやしない。	